

## 第 108 回エフエム熱海湯河原 番組審議委員会 議事録

- 1 開催日時 令和元年 5 月 16 日（木）13:30～14:30
- 2 開催場所 熱海市中央公民館いきいきプラザ 6F 和室 2 会議室  
（熱海市中央町 1-25）
- 3 委員総数 10 名、出席委員数 6 名、欠席委員数 4 名  
出席委員：西海裕代、深田真弓、富岡久和、川口正樹（代理：川人陽子）、  
カ石朋香、さいとう真由美  
欠席委員：館石晃一、大武宏、石黒英亀、苅谷和彦  
放送局側出席者 野原裕、山崎浩一、金井周平
- 4 委員長挨拶 深田真弓委員長
- 5 前回審議番組の経過 開催通知に議事録を添付した。
- 6 議 事

（1）令和元年度番組審議委員会委員委嘱  
別紙の改選案のとおり委員 10 名を委嘱した。

（2）委員長、副委員長選出  
委員長に西海裕代さん、副委員長に館石晃一さんを選出した。

（3）番組へのご意見

対象番組：『あの頃青春グラフィティ in ATAMI BAY RESORT KORAKUEN』  
（FM 熱海湯河原開局 20 周年記念事業）  
4 月 20 日（土）13 時～16 時 3 時間生放送

### 委員からの意見

- ・以前当番組が瀬戸内市で公開放送を行った回を審議したが、今回は熱海ならではのリゾート感が出ていた。
- ・V 字回復の話など、熱海が盛り上がっている印象が伝わった
- ・ゴールデンウィーク前の放送だったので良い宣伝になった
- ・番組の固定ファンが多くいて、この放送のために熱海に来ていることに驚いた。
- ・新しいお客様を呼び込むきっかけになるので機会があれば湯河原でも放送してもらいたい
- ・もう少し FM のパーソナリティとの絡みがあっても良い
- ・熱海ベイリゾート後楽園からの公開生放送の臨場感が伝わって良かった。
- ・熱海の観光情報と FM の 20 周年が PR 出来た
- ・メインパーソナリティの語尾「～ね」が多く気になった
- ・新婚旅行など、昔の熱海のイメージを持っている 50 代、60 代の番組リスナー、メインパーソナリティ、来場者に対して現在の熱海の情報伝わり、イメージアップにつながった
- ・以前審議した瀬戸内市での公開放送を聴いた時にこのような番組が熱海で出来れば良いなと思っていたが、今回期待以上の内容だった。
- ・FM 局を通じて全国に、今熱海が盛り上がっている様子や新しい熱海ベイ

リゾート後楽園の施設の特徴や良さが伝わった。

- ・メインの岡野パーソナリティのトークが上手く、リスナーとのアットホームな関係が伝わり好印象だった。
- ・自社番組でもこのような番組を制作してほしい
- ・リスナープレゼントに熱海ブランド商品を選んでもらい良かった
- ・熱海のビール屋さんというラジオネームのリスナーがいるが、どんな方なのか？

局から⇒実際に熱海市内にあるビール屋さん（酒屋）の方だそうです

## 7 その他（報告）

- ・開局20周年記念事業について
  - ・20周年事業は来年3月まで実施します

## 8 挨拶 (株)FM熱海湯河原 代表取締役社長 野原裕

- ・あの頃青春グラフィティは全国で約100局をネットしている番組で宣伝効果が高い媒体
- ・大手の全国放送等と比べてもリーズナブル（100万円以内）
- ・他の施設、地域でも活用していただきたい

## 9 その他参考となる事項

番組審議委員会の開催日を委員に諮ったところ、  
次回は、令和元年7月18日（木）に湯河原町内で開催することになった。